

Ⅲ. 大会運営について

(1) 競技上の注意

1. 本大会は、2023年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程、並びに公認審判員規程により運営する。
2. 選手は、会場に到着後、選手受付にて受付を済ませてください。
3. 選手は、試合アナウンスにより指定されたコートに入ってください。アナウンス後10分を経過してもコートに入らない場合は、「棄権」扱いとなる場合もあります。
4. 競技進行は、試合が終了したコートから順に試合のコールをしますので、アナウンスに注意してください。
5. 試合前の練習は2分以内とします。主審の指示により練習を開始してください。シングルの練習は対戦相手と、ダブルスの練習はペアで行ってください。
6. 同一選手による試合が連続する場合は、原則15分間の空き時間を設けます。
7. 試合のシャトルは検定合格品を使用します。試合前の練習のシャトルは本部が用意します。
8. 開会式終了後、一回転目の試合のコールをします。該当選手は速やかに指定されたコートに入るように準備をしてください。
9. 各コートの両エンドにコーチ席を2席配置します。
10. コートサイドに籠やドリンクボックスは用意しません。必要な物は、各自のバックに納め、持ち込んで下さい。
11. 各種目とも3位決定戦を行います。競技終了後、第3位までの入賞者の表彰を行います。
12. 閉会式は行いません。

(2) 審判上の注意

1. スピンサーブ（通称デコピンサーブ）はフォルトとします。
2. インプレー中、会場の付属物等にシャトルが触れた場合はフォルトとします。
3. 色付き着衣を使用する場合は、公益財団法人日本バドミントン協会審査合格品（大会運営規程第23条）とします。背面には都県名（背面の大きさは、大会運営規程第24条による。）を漢字で明示してください。
4. 競技規則第9条（サービス）、第13条（フォルト）、第16条（プレーの継続、振舞い、罰則）については、厳正に判定し処置します。
5. 競技規則第9条のサービスの高さは、シャトルがサーバーのラケットで打たれる瞬間に、シャトル全体が必ずコート面から1.15m以下であることをいいます。
6. 審判員の判定に対して疑問がある場合は、当該プレーヤーに限り質問することが認められます。ただし、抗議あるいは異議であってはなりません。抗議や異議と認められる言動も慎んでください。
7. サービスジャッジは各種目ともに準決勝から配置します。
8. 本大会の主審・サービスジャッジ・線審は、山梨県バドミントン協会で行います。